

学校番号	学 校 名
5 3	坂下高等学校

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	<p><地域に根ざした坂下高校> ～地域と共に、地域と育つ～ 社会の進展や変化に主体的に対応し、生涯にわたって心豊かで創造的な人生を営む態度や能力を身に付け、将来の地域社会に貢献できる生徒を育成する。</p>		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の課題に主体的に対応し、他者と協力しながら課題解決に取り組む生徒 ・夢と希望を持ち、前向きに人生に向き合い、他者への思いやりを忘れない生徒 ・地域社会の様々な分野で、自己の役割を自覚し、社会に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を通じた基礎学力の定着とコミュニケーション能力の育成 ・教科の学習目標に向け、ICTはじめ学習方法の工夫と研究を通じた主体的・対話的な学びの育成 ・地域と連携した多様な学習活動を通して、ローカルな学びをグローバルな学びへと展開できる課題解決力・深い学びの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意思で学ぼうとし、目的意識を持って学校生活に取り組む生徒。 ・新しいことにチャレンジし、粘り強く最後まで真面目に取り組む生徒 ・地域を愛し、将来の地域社会のために役に立ちたいと考えている生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 少人数授業を展開することで、生徒一人一人の基礎学力の充実を図るとともに、発展的な学習や専門的な技能の習得ができるような授業改善を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ① 各科の特色を生かした探究学習と地域連携を積極的に取り入れ、生徒が生き生きと学び、考え、充実した教育活動ができる教育課程を編成します。 ② ICTを効果的に取り入れ、生徒が自ら学び考えることができる授業を展開するため、校内研修や公開授業・授業研究会等を実施し、常に授業改善に取り組みます。 ③ 少人数授業や学びなおしの授業を効果的に活用し、確実な基礎学力の定着に努めます。 		<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の授業アンケート、保護者の学校評価アンケートの分析 ②生徒の授業アンケート ③基礎学力診断テストの結果分析
2 職員・生徒が坂下高校の一員としての自覚を持ち、チーム坂下高校として主体的に判断し行動できる態度や積極的に自己を生かす能力を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ① チーム坂下高校の一員として規範意識を持ち、仲間と共に学校生活を送る中で適切な人間関係を身に付けます。 ② ボランティア活動やMSリーダーズ活動への積極的な参加を奨励し、地域に貢献する活動を通して、自己有用感を育みます。 ③ 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」を活用し、地域や地元企業との連携した教育活動を進め、探究する力を育成します。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 迷惑調査等の結果分析 ② 学校評価アンケート、学校運営協議会や地域の方々からの意見 ③ 学校評価アンケート、学校運営協議会や地域の方々からの意見
3 個々の進路実現に向けて、主体的に考え、行動できる実践的な態度と能力を育成し、地域社会に貢献できる専門職（看護、介護、保育等）の輩出に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 進学補習や進学相談の充実を図り、上級学校及び公務員志望者の支援体制を構築することで、基礎学力を向上させ、進路実現に繋がります。 ② 地元企業見学、インターンシップや企業実習（デュアルシステム・キャリアサポート）を通して職業感、勤労観を育成します。また、進路学習の機会を増やすことで、各自の進路探究を支援し、進路実現に向けた主体的な姿勢を育みます。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 模擬試験等の結果分析と進路結果、学校評価アンケート ② 企業実習受け入れ先からの評価、生徒アンケート
4 教職員の働き方改革を推進し、教職員が心身ともに充実して生徒と向き合えるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員の業務の適正化、効率化を図り、長時間勤務の解消や健康維持を推進します。 ② 不祥事根絶とコンプライアンス意識の向上に努め、風通しのよい職場環境を作り、教職員が生き生きと働くことができる環境を作ります。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 職員出退勤システムの分析、ストレスチェック等の諸調査 ② セルフチェックシートや職員研修

